

農産物直売施設による営農意欲の変化

Effects to Farming Incentive by Farmers 'Market

○飯田 耕久* 高橋 強* 林 直樹*
Yasuhisa IIDA Tsuyoshi TAKAHASHI Naoki HAYASHI

1. はじめに

農産物直売施設とは、農家が既存の流通経路を通さずに直接農作物等を消費者に販売する施設のことであり、その数は小規模のものを含めると1万を越えると言われている。

また、主に農業労働力不足から発生する耕作放棄地は、景観の悪化、病害虫の発生、さらには農業という伝統文化の喪失につながる。近年、耕作放棄地の発生抑制、耕作放棄地の有効利用が求められているが、著者らは、農産物直売施設による出荷農家の営農意欲の向上、耕作放棄地の抑制に与える影響について研究を行っている。

2. 調査対象・研究の方法

調査対象は、大阪府茨木市見山地区において平成14年10月にオープンした「農産物直売施設を有する見山の郷交流施設（以下、単に「交流施設」と記す）」である。見山地区は、茨木市の中でも北部の山間部に位置しており、北は京都府亀岡市と接している。市街地から車で30分程離れており、地区の大半は山林で、小河川に沿って傾斜の大きい棚田が残る農村地域である。この交流施設は地域住民の出資による農事組合法人によって運営されており、農産物加工品見学施設、野菜・花販売所、工芸品販売所、茶店で構成されている。平成14年10月から平成15年6月までの1カ月あたりの来客数（レジ通過客）は平均で約6400人であり、茨木市だけでなく周辺市町村からの来客者も多く、特に土日は駐車場が満車になるほどの盛況を見せている。



図1 見山の郷交流施設

Fig1.Miyama no Sato

平成16年1月、出荷農家と地域住民（農家・非農家は問わない）を対象に、交流施設に関するアンケート調査を実行した。配布数は698、回収数は538（このうち出荷農家は約90）、回収率は77.1%である。本稿では、出荷農家の回答データを用いて、考察を行った。

3. 集計結果と考察

図2は、質問「交流施設ができて、見山地区で何が変わったと思いますか？」に対する回答（3個選択の制限付き複数回答）の単純集計である。「交通事故の危険の増加」といった否定的な意見も見られるが、「営農意欲の向上」、「外から人が来てにぎやかになった」、「地区に誇りを持てるようになった」といった肯定的な評価の方が目立つ。

質問「交流施設の発展のために何が望まれるか」（3個選択の制限付き複数回答）では、「安全で安心な野菜作りとその宣伝」が46.4%、「施設の拡張、新設」が40.2%であり、出

*京都大学大学院農学研究科, Graduate school of Agriculture, Kyoto University 直売施設, 営農意欲

荷農家の約9割が野菜を出荷していることを踏まえると、農産物直売の規模拡大に大きな期待が寄せられていることがわかる。

質問「うるち米以外の作付面積について」に対する回答（単一回答）は、「増やそうと思う」が13.9%、「特に変えるつもりはない」が84.8%、「減らしたい」が1.3%であり、「増やそうと思う」という意見も少なからず見られた。これらのことから、前述の「営農意欲の向上」は、「実際の作付面積の増加にも貢献するほどのもの」であると言えるだろう。

図3は、前述のうるち米以外の作付面積の意向と年齢層（60歳未満・60歳以上）に関するクロス集計の結果である。60歳未満よりも、60歳以上の出荷者の方が、「（作付面積を）増やしたい」の割合が高い。今後の農村の一層の高齢化を考えると、60歳以上の高齢者に対して、作付面積の増加が期待できることは、高く評価できるだろう。

図4は、質問「出荷農家自身が、今後作付面積を増やして、遊休地や耕作放棄地をうまく活用できるようになると思うか」に対する回答（単一回答）の単純集計である。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせると、約4割に達する。交流施設が営農意欲の向上、作付面積の増加だけでなく、耕作放棄地の有効活用にも繋がることを示唆される。

4. おわりに

以上、交流施設を通じて、出荷農家の営農意欲が向上していることがわかった。

本研究では、大阪府茨木市見山地区の住民の方々、大阪府、茨木市の職員の方々の多大なるご協力を得た。記して深くお礼申し上げる次第である。

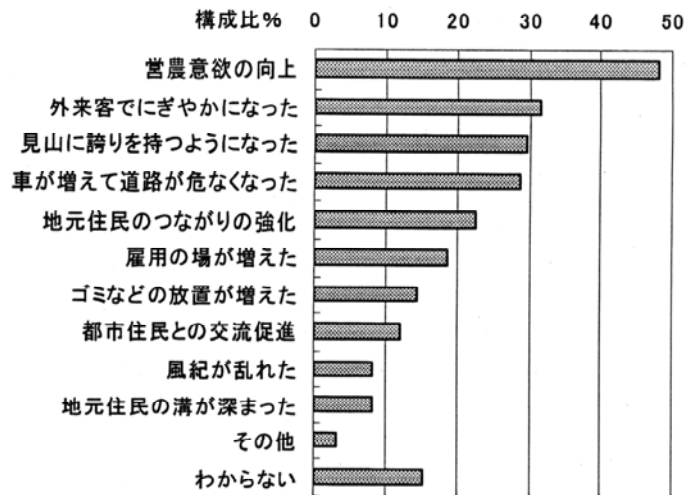


図2 直売施設の影響効果
Fig.2 Effects of Farmers' market

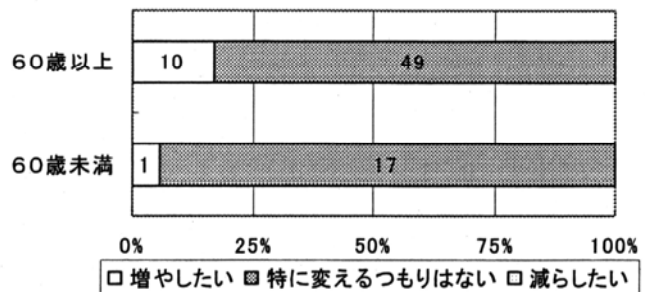


図3 作付面積の意向と年齢層

Fig.3 Intentions about Planting Area and Generation

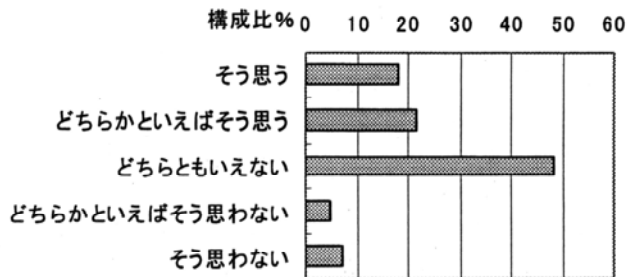


図4 耕作放棄地の有効活用についての意向
Fig.4 Intentions about Effective Utilization of Abandoned Farmlands